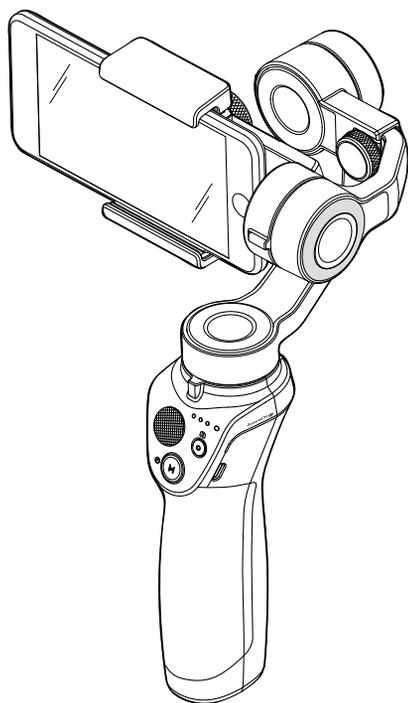


# OSMO MOBILE 2

## ユーザーマニュアル

v1.2 2018.11



## 🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードで検索して、トピックを見つけます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を読んでいる場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始します。

## 👉 任意のトピックへの移動

目次のトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに進みます。

## 🖨️ 本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

# このマニュアルの使用方法

## 凡例

⚠️ 重要

💡 ヒントとコツ

## DJI GO アプリのダウンロード

右側の QR コードをスキャンするか、App Store または Google Play で「DJI GO」を検索してください。Android 版の DJI GO アプリは、Android v4.4 以降で動作します。iOS 版の DJI GO アプリは、iOS v10.0 以降で動作します。



# 目次

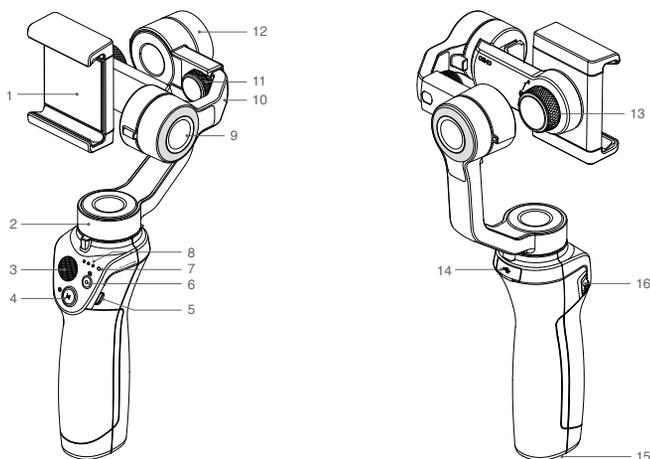
<b>このマニュアルの使用方法</b>	<b>2</b>
<b>凡例</b>	<b>2</b>
DJI GO アプリのダウンロード	2
<b>はじめに</b>	<b>4</b>
<b>Osmo Mobile 2 の充電</b>	<b>5</b>
<b>スマートフォンの取り付けとバランス調整</b>	<b>5</b>
スマートフォンの水平取り付け	5
スマートフォンの垂直取り付け	7
<b>Osmo Mobile 2 の使用</b>	<b>8</b>
コントロールと操作	8
操作モード	11
<b>DJI GO アプリ</b>	<b>13</b>
DJI GO アプリのインストール	13
DJI GO アプリへの接続	13
メイン画面	14
<b>ファームウェアの更新</b>	<b>17</b>
更新方法	17
<b>仕様</b>	<b>18</b>

# はじめに

3軸スタビライザー機構とスムーズトラック技術を搭載した OSMO™ Mobile 2 は、移動中のスマートフォンの手振れを補正し、スマートフォンをスマートモーションカメラとしてお使いいただけます。軽量で人間工学に基づく設計を採用しているため、指先でボタン操作をしながら連続した滑らかな動画を撮影できます。

Osmo Mobile 2 には、スマートフォンを水平にも垂直にも取り付けることができます。操作は簡単で、フォローモードではスマートフォンの位置を自由に 변경することができます。DJI GO アプリで、アクティブトラック/タイムラプス/パノラマなどの機能を使用できます。

## 各部名称



- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. モバイルデバイスホルダー      | 9. チルト軸モーター             |
| 2. パン軸モーター           | 10. アジャスタブルアーム          |
| 3. ジョイスティック          | 11. バランス調整ノブ            |
| 4. 電源/モードボタン         | 12. ロール軸モーター            |
| 5. 充電ポート (Micro USB) | 13. ホルダーロックノブ           |
| 6. シャッター/録画ボタン       | 14. USBポート              |
| 7. システムステータスLED      | 15. 1/4-20 UNC ねじ取り付け用穴 |
| 8. バッテリー残量インジケータ     | 16. ズームスライダー            |

\* スマートフォンは付属していません。

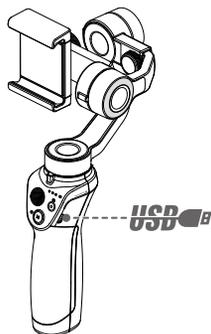
## Osmo Mobile 2 の充電

Osmo Mobile 2 の充電を行うには、付属の電源ケーブルで USB アダプター（別売）を充電ポートに接続します。充電中は、バッテリー残量インジケータが点滅して現在のバッテリー残量を示します。バッテリー残量インジケータが白色に点灯すると、バッテリーは完全に充電されています。バッテリーが完全に充電されているときの Osmo Mobile 2 の最大稼働時間は 15 時間です\*。

5V/2A USB 充電器の使用を推奨します。充電器の電流が 5V/2A 未満の場合は、USB BC1.2 の標準規格に適合しているか確認してください。適合していない場合は、破損の原因になる恐れがあります。

充電時間：2 時間（2A で充電した場合）

バッテリー残量インジケータ



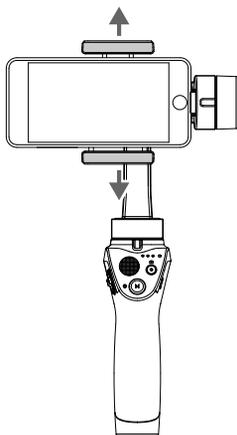
\*最大稼働時間は、ジンバルのバランスが取れており、安定した状態でテストした値です。この値は参考値です。

## スマートフォンの取り付けとバランス調整

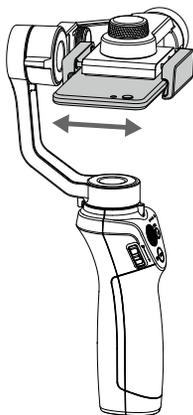
スマートフォンの取り付けとバランス調整は、必ず Osmo Mobile 2 の電源がオフのときに行ってください。

### スマートフォンの水平取り付け

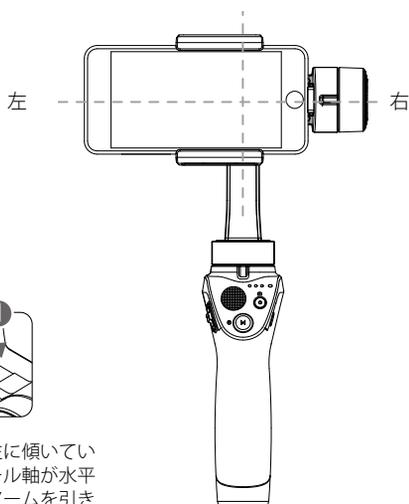
1. モバイルデバイスホルダーの両側を外側に引っ張って広げ、スマートフォンを設置します。ホルダーの両側を離すと、スマートフォンはその位置に固定されます。この時、スマートフォンをチルトモーター側に寄せて設置してください。



2. スマートフォンを下向きにして、モバイルデバイスホルダーの位置を調整してチルト軸のバランスを取ります。手を離したときにスマートフォンが水平になっていればチルト軸のバランスが取れています。



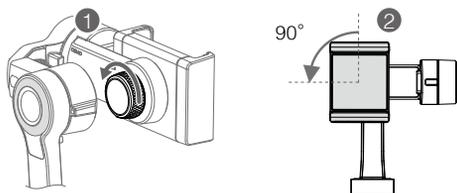
3. バランス調整ノブを緩めてアジャスタブルアームを引き出し、ロール軸のバランスを調整します。手を離したときにスマートフォンが水平になっていればロール軸のバランスが取れています。



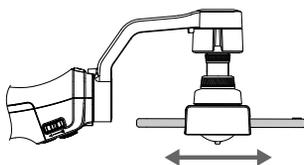
ロール軸が左に傾いている場合、ロール軸が水平になるまでアームを引き出します。

## スマートフォンの垂直取り付け

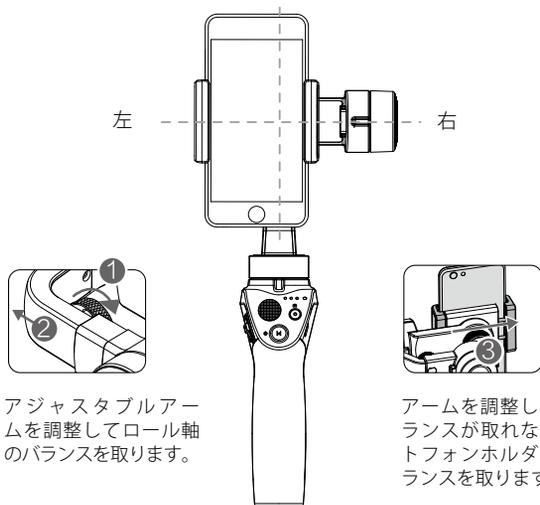
1. スマートフォンを垂直に取り付けるには、ホルダーロックノブを緩めてスマートフォンホルダーを90度回転させます。



2. モバイルデバイスホルダーの両側を外側に引っ張って広げ、スマートフォンを設置します。ホルダーの両側を離すと、スマートフォンはその位置に固定されます。Osmo Mobile 2を水平に保ち、モバイルデバイスホルダーの位置を調整してチルト軸のバランスを取ります。手を離れたときにスマートフォンが水平になっていればチルト軸のバランスが取れています。



3. バランス調整ノブを緩めてアジャスタブルアームを伸ばすか、あるいはスマートフォンホルダーの位置を調整してロール軸のバランスを調整します。手を離れたときにスマートフォンが水平になっていればロール軸のバランスが取れています。



アジャスタブルアームを調整してロール軸のバランスを取ります。

アームを調整してもロール軸のバランスが取れない場合は、スマートフォンホルダーを左に引いてバランスを取ります。

- ⚠
- 本器を使用するたびに、スマートフォンが適切にホルダー内に取り付けられ、システムのバランスが取れていることを確認してください。使用前に、スマートフォンとホルダーの間に隙間がなく、バランス調整ノブとホルダーロックノブが締まっていることを確認してください。
  - 性能を最大限に発揮させるためには、スマートフォンのバランス調整が重要です。Osmo Mobile 2のバランス調整は、必ず電源オフの状態で行う必要があります。

# Osmo Mobile 2 の使用

## コントロールと操作

ハンドル上のボタンで、ジンバルとスマートフォンを細かくコントロールできます。ジンバルが、ジョイスティックの操作を滑らかなパンやチルトの動きに変換し、自然に発生する手ぶれをスムーストラック技術で低減します。フォローモード中は、スマートフォンの位置を直接手で変えることもできます。



### 1. 電源 / モードボタン

Osmo Mobile 2の電源をオン/オフするには、電源/モードボタンを1.5秒間長押しします。Osmo Mobile 2の電源がオフのときにバッテリー残量をチェックするには、電源/モードボタンを1回押します。バッテリー残量インジケーターに、現在のバッテリー残量が表示されます。



- 
- ⚠️ • Osmo Mobile 2の起動中は、動かさずに直立で保持してください。
  - 電源をオンにすると、Osmo Mobile 2は常にフォローモードで起動します。
- 

Osmo Mobile 2の電源がオンのときには、以下のように動作します。

- 電源/モードボタンを1回押すとジンバルモードが切り替わります。Osmo Mobile 2はフォローモードからフリーモードに切り替わります。フリーモードでは、スマートフォンはハンドルの動きに関係なく、現在の位置を維持します。フォローモードに戻るには、電源/モードボタンをもう一度押します。
- スマートフォンをセンターリングするには、電源/モードボタンを素早く2回押します。
- スマートフォンの前面カメラと背面カメラを切り替えるには、電源/モードボタンを素早く3回押します。

- 
- ⚠️ • 動画撮影中は、前面カメラと背面カメラの切り替えはできません。
  - アクティブトラックの使用中に前面カメラと背面カメラの切り替えを行うと、追尾を停止します。
-

## 2. バッテリー残量インジケータ

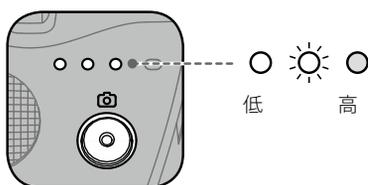
Osmo Mobile 2 の電源がオフのときにバッテリー残量をチェックするには、電源 / モード ボタンを 1 回押します。

### バッテリー残量インジケータ

● : LED が点灯。      ☀ : LED 点滅。      ○ : LED が消灯。

LED1	LED2	LED3	バッテリー残量*
●	●	●	67 ~ 100%
○	○	○	34 ~ 66%
●	○	○	16 ~ 33%
☀	○	○	1 ~ 15%
○	○	○	0%

\* バッテリー残量インジケータの表示は、あくまでも参考として取り扱ってください。



## 3. システムステータス LED

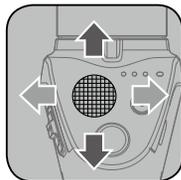
Osmo Mobile 2 の現在のシステムステータスを示します。

LED の状態	説明
☀ — 緑色に点灯	Osmo Mobile 2 が正常に機能している、またはファームウェアの更新に成功した
☀ …… 緑色に点滅	Osmo Mobile 2 は初期化中、あるいは静止画撮影中
☀ — 黄色点灯	ジンバルがロックされているか、再センタリングされている
☀ …… 黄色点滅	ジンバルが正常に機能していない
☀ …… 赤色点滅	録画中
☀ ☀ …… 赤色と緑色に点滅	ファームウェアの更新中
☀ — 赤色に点灯	ファームウェアの更新に失敗

☀ システムステータス LED が黄色で点滅している場合、ジンバルのエラーが発生しています。スマートフォンを再センタリングするには、電源 / モード ボタンを素早く 2 回押します。

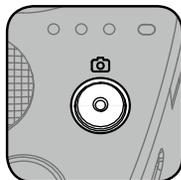
#### 4. ジョイスティック

スマートフォンをチルトさせるには垂直に動かします。スマートフォンをパンさせるには水平に動かします。ジョイスティックの制御方向は DJI GO アプリで設定できます。



#### 5. シャッター／録画ボタン

録画の開始／停止や静止画を撮るには、シャッター／録画ボタンを1回押します。(静止画モードと動画モードを切り替えるには、DJI GO アプリで「静止画／動画」スイッチをタップします。) バースト (連続) 撮影を行うにはシャッター／録画ボタンを長押しします (iOSのみ対応)。



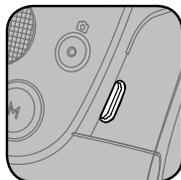
#### 6. ズームスライダー

押し上げてズームイン、押し下げてズームアウトします。



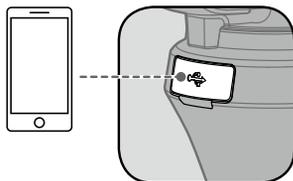
#### 7. 充電ポート (Micro USB)

Osmo Mobile 2 を充電するには、USB アダプターをこのポートに接続します。詳しくは「充電」の項を参照してください。



#### 8. USB ポート

USB ポートを使用して、スマートフォンを充電できます。



標準 Micro USB ケーブルを使用して USB ポートとスマートフォンを接続します。Osmo Mobile 2 の電源がオンになっている場合、充電が開始します。Osmo Mobile 2 の電源がオフになっている場合は、電源 / モードボタンを1回押すと充電を開始します。

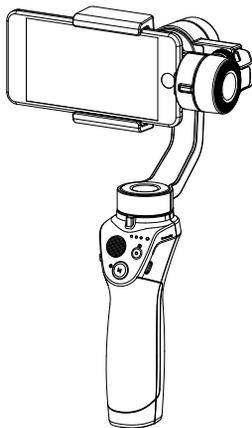
- 
- ⚠** Osmo Mobile 2 自体の充電中は、スマートフォンを充電することはできません。  
Osmo Mobile 2 の充電中は、USB ポートをスマートフォンに接続しないでください。
-

## 操作モード

説明に使用している図は、Osmo Mobile 2 にスマートフォンを水平に取り付けて使用するときの操作モードを示していますが、スマートフォンを垂直に取り付けて使用するときにも同様の操作モードが適用されます。

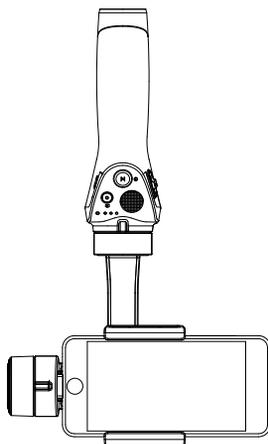
### 直立モード

直立モードは初期設定のモードです。このモードでスマートフォンをセンタリングするには、電源/モードボタンを素早く 2 回押します。



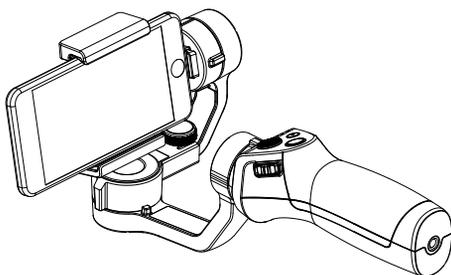
### 吊り下げモード

Osmo Mobile 2 を逆さにすると、吊り下げモードになります。このモードでは、スマートフォンにより、低い位置からの映像を簡単に撮影できます。



## ペンライトモード

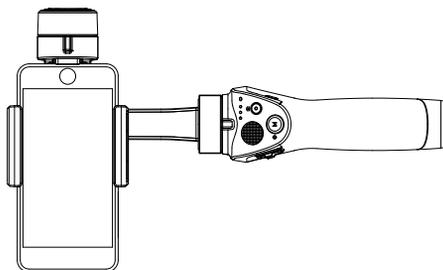
Osmo Mobile 2 を前方に 90 度回転すると、直立モードからペンライトモードに切り替わります。スマートフォンを垂直にするには、電源 / モードボタンを素早く 2 回押します。ペンライトモードでは、ジョイスティックを上下に押すと、ジンバルがチルトします。ジョイスティックを左右に押しても何も動きません。



- 
- ⚠ スマートフォンを垂直に取り付けているときは、ペンライトモードでスマートフォンをセンタリングしないでください。このようにするとスマートフォンの端がジンバルにぶつかってしまいます。
- 

## ポートレートモード

Osmo Mobile 2 を左右に 90 度回転させると、直立モードからポートレートモードになります。ポートレートモードを使用しているときは、アクティブトラックは無効になります。



- 
- ☀
- ジンバルが動いているときは、センサーノイズによりハンドルが少し振動することがあります。この現象は異常ではなく、撮影の安定性には影響しません。
  - フォローモードでは、ジンバルが素早くセンタリングされ追尾を再開できるように、センタリング機能によりスマートフォンが真の中心から ±1.5° 以内の位置にセンタリングされます。センタリング機能使用後に、ジョイスティックを使用してスマートフォンの位置を微調整できます。
-

# DJI GO アプリ

DJI GO アプリを使用すると、スマートフォンの画面でライブ HD 動画を確認できます。このアプリを使用すると、アクティブトラック、タイムラプス、パノラマなどの機能を使用したり、カメラとジンバルの設定を数回タップするだけで変更したりできます。

## DJI GO アプリのインストール

「このマニュアルの使用方法」に記載の手順に従って DJI GO アプリをダウンロードし、お使いのスマートフォンにインストールしてください。

## DJI GO アプリへの接続

1. Bluetooth を有効にし、スマートフォンの縦方向ロックをオフにすると、横画面表示を使用できるようになります。
2. Osmo Mobile 2 の電源をオンにします。Osmo Mobile 2 の起動中はジンバルに触れず、Osmo Mobile 2 を直立させたままにしてください。



3. DJI GO アプリを起動します。Osmo Mobile 2 を初めて使用する場合は、画面の指示に従って Osmo Mobile 2 をアクティベーションしてください。インターネットに接続できる環境で DJI アカウントにログインする必要があります。
4. カメラビューにします。スマートフォンが Osmo Mobile 2 に正常に接続されている場合は、カメラビューにするとカメラで撮影している画像がリアルタイムで表示されます。

---

 カメラビューにした後の Osmo Mobile 2 の使用方法に関するチュートリアルが表示されます。

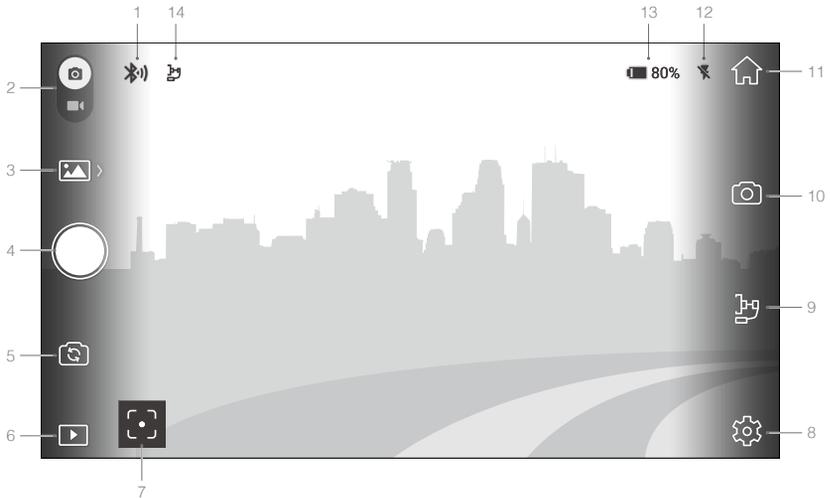
---

 電話に出ると、ジンバルの動作が停止します。

---

## メイン画面

### 機器 > カメラ



#### 1. 接続ステータス

DJI GO アプリと Osmo Mobile 2 間の接続ステータスを示します。

#### 2. 静止画／動画スイッチ

スライドして静止画モードと動画モードを切り替えます。

#### 3. 静止画／動画モード

 現在の静止画モード

- シングルショット、2 秒、5 秒、または 10 秒間隔、あるいは HDR（一部の Android モバイル端末では使用できません）

 現在の動画モード

- 標準：カメラ設定に基づいた通常の撮影モードです。
- スローモーション：タップすると、スローモーション動画の撮影が開始または停止されます（iOS のみ）。
- タイムラプス：写真の撮影間隔と撮影時間を選択して、タイムラプスの録画を開始します。安定性を高めるために、ジンバルモーターはロックされます。
- ハイパーラプス：静止画の撮影間隔と撮影時間を選択して、ハイパーラプスの録画を開始します。なめらかな画像を撮影するために、ジンバルは自動的に安定化されます。
- モーションラプス：最大 5 つのカメラ位置を使用して、移動タイムラプスを作成します。

---

 タイムラプスやモーションラプスの撮影をするときは、Osmo Mobile 2 を安定した平面上に置くか支えるなどして安定化させてください。

---

#### 4. シャッター／録画ボタン

● をタップすると動画撮影を開始／停止します。または静止画を撮影します。

#### 5. 前面／背面カメラスイッチ

 をタップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラが切り替わります。

## 6. 再生

 をタップすると、静止画や動画が表示されます。

## 7. 測光モード/アクティブトラック

タップすると、測光モードとアクティブトラックが切り替わります。

### ☉ 測光モード

- フォーカスおよび測光を自動で行うには画面上をタップし、露出を調整するには上下にスワイプします。
- 画面上をタップしたまま保つと、現在の露出設定がロックされます。ロックを解除するには、もう一度タップします。

### [:] アクティブトラック

- 画面上で対象物をマークすると、自動で動きを追尾させることができます。録画ボタンをタップすると、録画が開始されます。追尾中の被写体の構図上の位置を変更するには、ジョイスティックを使用してください。

---

 電話に出ると、録画やアクティブトラックは停止します。

---

## 8. 設定

 をタップして、カメラやジンバルの設定、デバイス情報の確認、ソーシャルメディアプラットフォームへのライブストリーム配信開始などを行います。

### カメラ

ここで、ビデオの解像度設定（スマートフォンに依存します）、パノラマ品質の調整、カメラ設定のリセットを行います。

### ジンバル

- 水平キャリブレーション  
水平線が傾いた場合に水平線を水平に戻すための正の値と負の値を調整します。
- 自動キャリブレーション  
周囲からの磁気干渉や人的エラーによるドリフトを低減させます。キャリブレーション中はジンバルに触れず、Osmo Mobile 2 を直立させたままにしてください。

---

 スマートフォンを垂直に取り付けているときは、自動キャリブレーション機能は作動しません。

---

- ジョイスティックの制御方向  
ジョイスティックの制御方向を [Free (フリー)] に設定すると、チルトの軸とパンの軸を同時に制御できます。
- ジョイスティックの左/右操作の反転  
ジョイスティックの左右方向を反転させます。右に押すとスマートフォンが左に回転し、左に押すと右に回転します。
- ジョイスティックの上/下操作の反転  
ジョイスティックの上下方向を反転させます。ジョイスティックを上を押すとモバイルデバイスは下にチルトし、下に押すと上にチルトします。

### 概要

ファームウェアのバージョンとデバイス名を表示します。

### ライブ

ライブストリームで、YouTube ライブや Facebook ライブなどのソーシャルネットワークプラットフォームへのライブ配信を行います。

## 9. ジンバルの環境設定

 をタップすると、ジンバルの環境設定画面が表示されます。

### シーンモード

スムーズトラックの速度はシーンモードに応じて変更されます。スポーツモードでは速く動き、ウォークモードではゆっくりと動きます。

### チルト軸ロック

有効にすると、現在の角度でチルト軸をロックします。

## 10. カメラの環境設定

 ビデオ解像度、フラッシュステータスを設定し、ビューティファイ効果や画面上の構図グリッドを有効にします。ISO、シャッタースピード、およびホワイトバランス制御の手動調整を有効にします（現在のところ iOS のみ対応）。

## 11. ホーム

 をタップすると、ホーム画面に移動します。

## 12. フラッシュステータス

フラッシュの現在のステータスを表示します。

## 13. バッテリー残量

Osmo Mobile 2 の現在のバッテリー残量を示します。

## 14. ジンバルモード

現在のジンバルモード ( フォローまたは  フリー) を示します。

## ズーム機能

画面に置いた 2 本の指を離すとズームインし、近づけるとズームアウトします。ズーム機能は測光モードでのみ使用できます。

## 編集

作品を 1 か所に表示、編集、共有できます。編集には、シンプルながら強力なツールが多数用意されています。動画や静止画を撮影した直後に編集し、オンラインで共有できます。

DJI アカウントでログインすると、作品を簡単にアップロードして共有できるようになります。保存した静止画と動画を Skypixel ([www.skypixel.com](http://www.skypixel.com)) にアップロードし、Facebook、Twitter、WeChat Moments、Sina Weibo などのソーシャルネットワーク上で共有できます。

## SkyPixel

ここで静止画や動画を見たり共有したりできます。

## Me

DJI アカウントをすでにお持ちの場合は、Me でフォーラムのディスカッションに参加したり、DJI オンラインストアにアクセスしたりできます。また  をタップして[初心者ガイドをリセットする]に進み、次回このアプリを開いてカメラビューに進んだときにチュートリアルを起動するように設定することもできます。

# ファームウェアの更新

DJI GO アプリを使用して、Osmo Mobile 2 のファームウェアを更新します。更新には、およそ 10 分かかります。

## 更新方法

更新を開始する前に、バッテリー残量が 30% 以上あることを確認してください。Osmo Mobile 2 をお手持ちのスマートフォンに接続し、DJI GO アプリを起動します。新しいファームウェアの更新が利用できる場合には、通知が表示されます。更新を開始するには、スマートフォンをインターネットに接続し、画面の指示に従います。

更新プロセス中に DJI GO アプリを終了しないでください。画面に表示されるメッセージに注意してください。ファームウェアの更新が正常に終了すると、システムステータスインジケータが緑色に点灯します。更新後、Osmo Mobile 2 と DJI GO アプリを再起動します。正常に更新できなかった場合は、もう一度やり直してください。

# 仕様

概要	
名称	Osmo Mobile 2
型式	OM170
寸法	295 × 113 × 72mm（折り畳んだ状態）
重量	485g
消費電力	1.2W（安定化されバランスの取れた状態）
操作可能範囲	パン：± 160°、チルト：± 155° （スマートフォン水平搭載時）
機械的な可動範囲	パン：± 170°、ロール：-90 ~ +70°、チルト：± 170°
最大制御速度	120° /s
対応しているスマートフォンの幅	58.6 ~ 85mm
対応しているスマートフォンの厚さ	≤ 8.9 mm
最大荷重	240 g
ワイヤレス	
モード	Bluetooth Low Energy 4.0
トランスミッター出力（EIRP）	1dBm 未滿
バッテリー	
タイプ	18650 LiPo
容量	2600mAh
電力量	18Wh
電圧	7.2V
充電温度	5 ~ 40°C
動作環境温度	0 ~ 40°C

本内容は変更されることがあります。

**最新版は下記よりダウンロードしてください。**

**<https://www.dji.com/osmo-mobile-2>**

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to **DocSupport@dji.com**

OSMO は DJI の商標です。

Copyright © 2018 DJI All Rights Reserved.